

新井勝紘 (アライ カツヒロ) 元専修大学教授

- 1944年 東京都福生市生まれ
- 1963年 東京都立国立高校卒業
- 1965年 東京経済大学経済学部入学  
色川(いろかわ)大吉(だいきち)教授の「色川史学」の洗礼をうける。  
4年次の1968年に所属した色川ゼミの調査で東京都五日市町(現あきる野市)の深沢家土蔵調査に参加し、土蔵の中から「五日市憲法」を最初に手にする。
- 1969年 東京経済大学経済学部卒業 卒業論文は「五日市憲法」  
東京都町田市史編さん室、町田市立自由民権資料館主査  
国立(こくりつ)歴史民俗博物館歴史研究部助教授。  
歴博では、近代史の展示を担当し、自由民権運動、被差別部落、アイヌ、朝鮮人虐殺など、人権と差別を意識した展示実現に取り組む。
- 2001年 専修大学文学部教授
- 2015年 専修大学文学部教授定年退職
- 2018年 岩波新書から、これまでの研究成果と発掘から、遺族探索やフィールドワークの研究  
自分史をまじえた『五日市憲法』を執筆。現在3刷
- 現在
- ・認定NPO法人 高麗(こうらい)博物館館長(新宿)  
日・韓・朝の三国の歴史を、市民自らがきちんと学ぼうと組織したNPO法人で、新宿区に常設展示「高麗博物館」を持つ組織
  - ・成田空港 空と大地の歴史館・名誉館長(成田)  
空港が出来る時に、地元住民と国がはげしく戦った成田闘争の歴史を次世代にも伝えることを目的に建設された歴史館。建設までこぎつける過程で、一人の研究者としてかかわってきた。展示の責任者の役割を担っている。
- 著書
- 『五日市憲法』(岩波新書)
  - 『民衆憲法の創造』(共著 評論社)
  - 『戦いと民衆』(共編 東洋書林)
  - 『近代移行期の民衆像』(編著 青木書店)
  - 『自由民権と近代社会』(編著 吉川弘文館)
  - 多摩地区の自治体史にかかわる。『五日市町』『秋川市』『福生市史』『東大和市史』
  - 『新八王子市史』『狛江市史』